52 NICUってどんなところ?

NICU（新生児集中治療室）は、予定より早く生まれてしまった赤ちゃんや、先天性の病気を持った赤ちゃんなどを 24 時間体制でケアする病棟です。生まれたばかりの赤ちゃんにとって、生死がかかるとても大変な時期を過ごすところですが、お母さんやご家族にとっても赤ちゃんと離され、不安や心配が一杯の時間を過ごされます。そのような中での看護師、助産師の役割はとても大切で多岐にわたります。その一端をご紹介します。

講　師
萩本　明子 准教授

専門分野
小児看護学、疫学

現在の研究テーマ
行動変容、生活習慣

担当科目
母子保健看護概論、疫学

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

研究テーマの詳細

53 看護師に必要な薬の知識とケアのポイント

与薬の最終段階は看護師です。薬の使用目的を理解した上で、処方された薬の薬効の確認、予測される有害事象（副作用）の確認とそれに対するケア、指示通り服用されているかどうかの確認を行うためには、薬の正しい知識が必要です。本講義では、与薬に際してよく起こる間違い、薬の体内動態、ケア・看護の視点から同時服用や日常生活上の注意点などについて説明します。

講　師
長谷川　昇 特任教授

専門分野
生化学的薬理学

現在の研究テーマ
ビタミン D の認知機能、身体機能、発達に及ぼす影響

担当科目
補完代替医療、基礎薬理学

出講可能日
木・金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、HDMI ケーブル

54 世界の子どもの健康

同じ地球に生まれてきたわたしたち。だれもが同じたった一つのかけがえのない命を持って生まれてきました。でも生まれた場所によって、その命の重さは平等ではないのが現実です。この講義では、ふだん私たちの生活とは直接かかわりのないように思える世界の子どもの健康とその背景、命の、健康の格差について考えてみたいと思います。

講　師
橋本　秀実 准教授

専門分野
国際保健、公衆衛生看護学

現在の研究テーマ
在日外国人の健康問題、海外日本人留学生の健康問題

担当科目
国際保健、養護実習

出講可能日
春学期：随時
秋学期：水・木曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

研究テーマの詳細

55 がんとともに“生活する”人を支える

日本では、がんに罹患する人が増えています。がんの治療には外科的治療、化学療法、放射線療法など様々な方法があります。がんとともに生活する人が、その人らしくあり続けるためには、セルフケア能力を高めることが重要です。病気とともに上手に生活するにはどうすれば良いか一緒に考えましょう。

講　師
葉山　有香 准教授

専門分野
成人看護学

現在の研究テーマ
がんで化学療法や放射線療法を受ける人々への看護

担当科目
がん看護援助論、終末期看護論

出講可能日
春学期：水曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

研究テーマの詳細

56 ヒトの寿命はどこまで伸びる？子どもと大人、がん細胞の違い

ヒトの体の細胞は種類ごとに寿命が 1 日、約 4 か月、約 10 年と様々です。心筋細胞や神経細胞のように一生置き換わらない細胞もあります。1965 年、ヒトの正常細胞の分裂回数が有限であることが発表され、その理論からヒトの最長寿命が計算されました。1996 年、大人羊の細胞からクローン羊の赤ちゃんが生まれましたが、元の羊より短命でした。子どもと大人の違い、正常細胞とがん細胞の違い、そして「人の寿命」についてお話しし、「人の健康」とは何か、一緒に考えていければと思います。

講　師
細井　創 特任教授

専門分野
小児科学、小児腫瘍学

現在の研究テーマ
がんの病態解明と新規治療法の開発

担当科目
成育医療学、体のしくみⅠ・Ⅱ

出講可能日
水・金曜日など

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、
音声入り動画が流せる環境、Wi-Fi 環境

57 マタニティライフを考える

いのちの誕生に向け、赤ちゃんを育み出産するお母さんの心とからだの健康について考えます。お母さんのおなかの中で赤ちゃんがどのように成長していくのか、妊娠中のお母さんの過ごし方、産まれてくる赤ちゃんの持つ様々な能力について、発育と発達の視点から説明します。

講　師
和泉　美枝 准教授

専門分野
母性看護学、助産学

現在の研究テーマ
妊婦や産後の女性を対象として、自律神経活動、
身体組成、心理状態についての研究

担当科目
ウイメンズヘルス援助論、成育医療学

出講可能日
木曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

研究テーマの詳細

58 看護ケアのプロになることと自分らしさ

21 世紀はケアの時代です。私たちの世界を豊かにするのは、自分自身を大切にし、自分の近くにいる人を大切にし、人々の健康や生活の質を高める関わりを続けていくことです。私たちはやりたいことがたくさんあります。その一方で、歳をとったり子どもを育てたり病気になったりということが起き、生きている故に必要不可欠な日々の営みがあります。自分らしく生きることとケアをすることの繋がりについて少しだけ学んでみましょう

講　師
片山　由加里 准教授

専門分野
基礎看護学

現在の研究テーマ
看護ケアの本質的探究と臨床実践、
看護職の感情労働と臨床判断

担当科目
看護理論、ヘルスアセスメント

出講可能日
月曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

59 小児科ナースのお仕事を紹介します

皆さんは、小児科で働く看護師にどのようなイメージをお持ちでしょうか？優しいイメージ？それとも怖いイメージ？講義では、小児科ナースの仕事の一部をお話しします。また、小さな子どもを対象に絵本や紙芝居などを用いて行う「プレパレーション（心理的準備）」という看護実践を紹介します。知っているようで知らない小児科ナースのお仕事をのぞいてみませんか。

講　師
川崎　友絵 専任講師

専門分野
小児看護学

現在の研究テーマ
子どものトータルケア、医療と教育の連携

担当科目
小児看護援助論、こどもの医療

出講可能日
水曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン、
DVD 映像を投影できる機器

60 ロコモを知っていますか？

要介護の原因の第 1 位は運動器の障害である。ロコモ（ロコモーティブシンドローム）は、骨や関節、筋肉・神経（運動器）に疾患や痛みがあると、移動能力が低下して要介護に陥る、という日本整形外科学会が提唱する概念である。一方、要介護の手前にはフレイルという、健康と要介護の中間的な過程がある。フレイルは高齢期に現れる状態であるが、運動器の機能低下は若い年代から現れる。最近はこどものロコモも指摘されている。本講義では、ロコモの診断方法や対応について学習する。

講　師
木村　みさか 特任教授

専門分野
老年看護学、公衆衛生

現在の研究テーマ
健康と運動・栄養・体力、介護予防

担当科目
セーフティプロモーション論

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

61 じぶんのからだについて知ろう

私たちのからだはどうなっているのでしょうか。身体の外側からでも、あなたが想像している以上に身体の内側のことまで知ることができますよ。この講義では、身体の仕組みを解説しながら身体の表面に触れ、自分の身体について一緒に考えてみたいと思います。そして、自分の身体に興味や関心を持ち、普段の自分や家族の健康に役立ててもらうことができればよいと思います。

講　師
木村　静 准教授

専門分野
基礎看護学、基礎看護技術

現在の研究テーマ
看護技術の科学的検証

担当科目
フィジカルアセスメント、診療補助技術

出講可能日
水曜日など

研究テーマの詳細

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

62 映像から学ぶ“病い”の意味:うつ病の場合

映画『ツレがうつになりまして』を通して、主人公がうつ病を患うことにより、日常生活及び社会生活における変化と家族への影響を考える。さらに、看護の視点からうつ病を患う主人公と主人公を支える家族にどのような支援を行うことができるかについて考えたいと思います。

講　師
木村　洋子 准教授

専門分野
精神看護学

現在の研究テーマ
うつ病を持つ人の家族への支援

担当科目
精神看護学概論、こころのしくみと保健医療

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

63 訪問看護を知っていますか?

訪問看護では、自宅で療養される方（子どもから高齢者まで）のところに看護師が出向き、病状の観察や日常生活の援助、医療処置、精神的支援や家族支援を行います。住み慣れた地域で最期まで過ごすための看護について紹介します。

講　師
小松　光代 教授

専門分野
高齢者・在宅看護学

現在の研究テーマ
認知症の人の看護、高齢者の睡眠健康

担当科目
高齢者看護学概論、在宅看護援助論

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

64 マタニティライフを考える

いのちの誕生に向け、赤ちゃんを育み出産するお母さんの心とからだの健康について考えます。お母さんのおなかの中で赤ちゃんがどのように成長していくのか、妊娠中のお母さんの過ごし方、産まれてくる赤ちゃんの持つ様々な能力について発育と発達の視点から説明します。

講　師
眞鍋　えみ子 教授

専門分野
助産学、母性看護学

現在の研究テーマ
妊娠育児期の母子の健康に関する研究

担当科目
健康心理学、母子保健看護概論

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター

65 ケアリングと看護

ケア／ケアリングという言葉は、一般的には、相手に対する気遣いや配慮などの意味合いとして用いられていますが、看護におけるケア／ケアリングの概念に多大な影響を与えたミルトン・メイヤロフの著書『ケアの本質』では、ケアされる人とケアする人の双方の人間的成長をもたらす用語として定義されています。このようなケアリングは、看護の中核的概念であると言われています。この講義では、メイヤロフの『ケアの本質』を中心に看護におけるケアリングについて考えていきたいと思います。

講　師
南　妙子 教授

専門分野
基礎看護学

現在の研究テーマ
医療安全教育、看護ケアの安全・安楽

担当科目
看護過程論、看護コミュニケーション論

出講可能日
秋学期：木曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

66 私の健康、家族の健康～家庭訪問から見た保健師のしごと～

個人と家族の健康はお互いに大きく影響しあっています。家族の誰かが病気になると家族全体が影響を受けますし、そもそも個人の健康観や健康行動、生活習慣は家族から大きな影響を受けています。地域の中で個人と家族の両方をみながら健康の保持・増進をサポートしているのが保健師です。保健師は、「家庭訪問」という手段を使って家族に出会い、支援の糸口を作っていきます。「家庭訪問」を通して保健師活動について紹介します。

講　師
三橋　美和 教授

専門分野
公衆衛生看護学

現在の研究テーマ
地域で生活する人々の健康支援

担当科目
健康教育論、家族相談援助論

出講可能日
木曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

67 マンガ「生きる-最後まで自分らしく-」を読みながら”生ききること”について一緒に考えよう

「地域で住み慣れた場所で最期の時を過ごしたい！」と思っていてもなかなか現実には難しい時代が長らく続きましたが、地域包括ケアシステムが推奨され、徐々に医療・介護・福祉のつながりができてきました。本人と家族の意向が尊重され「最後まで生ききること」を支えるには専門職だけでなく家族など周囲の方の理解がとても重要です。マンガを読み解きながら一緒に考えましょう。

講　師
光木　幸子 教授

専門分野
成人看護学

現在の研究テーマ
糖尿病とがんを併せ持つ患者へのセルフケア支援、看護学生のチェンジエージェントスキル修得の教育教材の開発とその評価

担当科目
成人慢性期看護援助論、がん看護援助論

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン

68 胎児期からみる出生直後の新生児

新生児について、母性看護学および助産学に基づいた講義と演習との組み合わせによる講義展開です。講義では、はじめに、日本における出産を取り巻く現状を説明します。続いて、新生児の定義、胎児期からみる新生児の生理学適応、出生直後の新生児ケアを説明します。最後に、赤ちゃん模型での演習を行います。

講　師
宮川　幸代 准教授

専門分野
ウイメンズヘルス、助産学

現在の研究テーマ
女性の健康支援、睡眠

担当科目
ウイメンズヘルス実習、ウイメンズヘルス援助論

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、
赤ちゃんの模型を置く台

69 『手術看護のひみつ』ー手術を受ける患者の看護ー

『手術を受ける』ということは、患者さんにとって“病を治す”という大きな目標があります。しかし、麻酔をかけるということ、身体を切るということは、患者さんにとって想像を絶する体験です。みなさんは、手術室看護についてどのようなイメージをもっていますか？この授業では、あまり知られていない手術室看護師の役割を通して、手術を受ける患者さんの安全・安楽がどのように守られているのかについて、紹介します。

講　師
小笠　美春 准教授

専門分野
成人看護学（急性期）

現在の研究テーマ
手術を受ける患者のセルフマネジメント、
成人看護学における教育方法

担当科目
成人急性期看護援助論、
成人リハビリテーション期看護援助論

出講可能日
春学期：金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

研究テーマの詳細

70 看護学を学ぶ～トモニ･イキル･看護～

「看護」という言葉からどんなことをイメージしますか。看護をより身近に感じていただくために、「看護とは何か？」「今、社会が必要としている看護とは？」などを具体的にお話ししたいと思います。また、看護職になるための学びのプロセスを紹介しながら、これからの看護についても共に考えていきましょう。

講　師
岡山　寧子 特任教授

専門分野
高齢者・在宅看護学、
看護学教育

現在の研究テーマ
高齢者の健康長寿、看護学の教育、看護教育の歴史

担当科目
高齢者看護学概論、高齢者看護援助論

出講可能日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

71 認知症について学ぼう

超高齢社会を迎えたわが国では、認知症の人とその予備軍を加えると 800 万人といわれています。身近な人や家族が認知症になる可能性は誰にもありますが、まだまだ誤解や偏見が強い病気でもあります。記憶のメカニズムから認知症の基本的な理解、認知症の人への接し方などを学び、認知症に対する正しい知識を持つことから始めましょう。そして、認知症の人もいきいきと生活できる地域のあり方について一緒に考えていきましょう。

講　師
杉原　百合子 教授

専門分野
高齢者・在宅看護学

現在の研究テーマ
要介護高齢者への支援、認知症の人と家族へのケア

担当科目
在宅看護援助論、高齢者看護学実習

出講可能日
水曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

72 看護における倫理的問題

人の命に関わる医療や看護の現場では倫理的問題が多数存在しています。各々の立場や役割による価値観（大事にしているところ）の違いが、同じもの（対象）を見ていても、違う見方をしてしまうことがあります。そこで価値観の対立によるジレンマが生じて、倫理的問題が明らかになります。患者と家族、医療者と患者・家族、社会と患者・家族など医療の現場における今日の倫理的問題について一緒に考えてみましょう。

講　師
當目　雅代 教授

専門分野
成人看護学

現在の研究テーマ
周手術期における患者教育、運動器疾患患者の看護、
成人看護学における教育方法

担当科目
看護倫理、成人急性期看護援助論

出講可能日
土曜日

講義に必要な機材
パソコン

73 高齢者の「食べること」を支える援助

「食べること」について、意識したことはありますか。きっと多くの人が、日々、当たり前に食事をしているのではないでしょうか。ところが、高齢になると、病気や加齢変化などの原因により、口から「食べること」が難しくなることがあります。そのような方々に対して、看護師はできるだけ、口から食べていただけるように援助を行います。まずは、食べることのメカニズムをひも解き、「食べること」を支える援助について考えていきたいと思います。

講　師
山縣　恵美 准教授

専門分野
高齢者・在宅看護学

現在の研究テーマ
地域で暮らす高齢者の介護予防

担当科目
高齢者看護援助論、在宅看護援助論

出講可能日
木曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、パソコン

研究テーマの詳細